



士別ロータリークラブ会報

創立 1960・3・24

R I 第 2500 地区

Vol.003

No.2435

2013-2014年度国際ロータリーのテーマ



2013-14年度RI会長 ロン D. バートン

2013-2014年度士別ロータリーのテーマ

「出来ることを 出来るときに 出来ることから」

士別市／世界のめん羊館



例会場／士別グランドホテル

例会日／毎週月曜日 12:10～13:10

事務所／士別グランドホテル TEL 0165-23-1234

会長／千葉 繁 夫

副会長／阿 達 勇

幹事／奈良 康 弘

第 2517 回例会 2013年7月22日 (月)

本日のプログラム：普通例会・理事会

● 前回 (7月8日、月曜日) の記録：普通例会

司 会／近井孝義 会場監督

齊 唱／我等の生業

本日の出席／会員 48 名中 出席者 38 名 出席率 79.17%

本日の欠席／伊藤優市、黒田康敬、志村孝幸、佐藤和彦、田中道也、藤吉敏博、今井 裕、穴田俊昭、野 英俊、細川博司

メイクアップ／加藤 博、國森和麿、深尾幸夫 (ふれあい広場 3 日間) 伊藤優市、坂口芳一、近井孝義、本山忠之 (ふれあい広場 2 日間) 阿達 勇、大野裕一郎、尾崎学、織戸俊二、神田英一、志村孝幸、田中道也、谷 温恵、千葉繁夫、奈良康弘、宮崎隆雄、山口哲雄、山本俊一、若森 孝 (ふれあい広場 1 日間)

ビジター・ゲスト

ニコニコBOX／

累計 38,000 円

● 例会予定

7月例会日

- 7月 1日 (月) 普通例会・理事会
- 7月 8日 (月) 普通例会
- 7月15日 (月) 休会 (法定休日：海の日)
- 7月22日 (月) 普通例会・理事会
- 7月29日 (月) 夜間例会

8月例会日(会員増強及び拡大月間)

- 8月 5日 (月) ガバナー公式訪問例会
- 8月12日 (月) 普通例会・理事会
- 8月19日 (月) 普通例会
- 8月26日 (月) 夜間例会

■会務報告 千葉繁夫 会長

●毎日暑い日が続き、今日も朝から気温が上がってます。7月、8月は何かと行事が多く慌ただしい月ですが、体調を崩さぬようお願いいたします。

●6日、7日は第30回「ふれあい広場inしべつPART30」が総合体育館を会場に多数の市民が参加し、晴天のなか盛大に開催されました。クラブからは加藤社会奉仕委員長はじめ多くのメンバーが参加を頂き大変ご苦労様でした。

●6日、故菊地博会員の1周忌法要のお参りに行ってまいりました。後継者の菊地仁さんが「今は元気で頑張っています」と言っておられました。

●昨日、枝幸町において第2分区会長・幹事会が開催され、出席してまいりました。

①今年度の第2500地区葎本ガバナーの活動方針について、中美ガバナー補佐から説明があり、会員1人の増強や1年で退会する原因等について中心に話し合いをいたしました。

各クラブとも悩みは同じでした。

②公式訪問スケジュールの確認

③その他として、名寄RCから9月に開催されます「ライラセミナー」の参加要請がありました。

会議終了後、海岸に移動し「地引き網」の体験として、約30名で20分くらいで引き上げました。大変疲れましたが良い経験でした。昼食は海鮮バーベキューを頂き、交流を深めて参りました。

●来週15～16日は士別神社の例大祭が行われます。今年は祭典委員にメンバー9名が奉仕を務めることになっています。天候に恵まれ、事故なく円滑に開催されることを願っております。

■幹事報告 奈良康弘 幹事

①7月1日例会終了後、3役にて、士別市役所、道北日報社、北海道新聞、北都新聞、士別ライオンズクラブ、国際ソロプチミスト士別へ就任挨拶に行っていました。

併せまして、牧野市長へ名誉会員の承諾を頂いて参りました。

②7月7日第2分区ロータリークラブ会長・幹事会、枝幸にて開催され千葉会長・幹事奈良にて出席して参りました。

③6日・7日ふれあい広場が開催されました。奉仕活動に参加されました加藤社会奉仕委員長はじめ、会員の皆様大変ご苦労様でした。又今回の出席に関しましては、メイクアップ対象となっておりますので、対象者の発表をいたします。

④先ほど、第24回サフォークランドサッカー及び平成25年度スポーツ少年団活動に対しまして、助成金寄贈を終了いたしました。

⑤国際ソロプチミスト士別チャリティー納涼パーティー及び合宿の里士別推進協議会より夏季強化合宿選手との親睦交流会の参加協力依頼が来ております。取り扱いは加藤社会奉仕委員長となっております。

⑥6月29日開催されました、2013牧野勇司さんと市民の集い終了のお礼が来ております。

⑦R I 第2500地区より第33回ライラセミナーの案内及び日程の詳細が来ております。

⑧次週7月15日は休会となっております。お間違えのないようお願いいたします。

■委員会報告

●プログラム委員会 北村浩史 委員長

本日はまず今年度の活動計画を発表させていただきます。社会奉仕委員会の加藤委員長、新世代プログラム委員会の深尾委員長、お願いいたしました。

その後、新入会員の会員卓話をお願いいたします。二井内会員、よろしくお願ひします。

7月22日の活動計画発表は今のところ会員増強委員会を予定しています。

■各委員会事業計画発表

●社会奉仕委員会 加藤 博 委員長

●新世代プログラム委員会 深尾幸夫 委員長

■会員卓話

●二井内亮太 会員

私の仕事は総合保険でございますので、その事についてお話をして行きたいと思ひます。資料を本日配布致しましたので、資料に沿ってお話致します。資料一枚目の死亡原因の状



況は人口10万人を切り抜いて、その中で全国と比べてどの様な物が原因に成っているかを表したグラフに成っております。100が世の中の平均、100を超えていれば北海道は全国と比べて死因が多、少ないと死因が少ないと云うことに成ります。資料を見ていくと腎不全のところは141と非常に高く成っていますが、その下のグラフのところ、凡その母体数が書かれています。確かに腎不全は多くなっていますが、そもそもなる人の数は悪性新生物（ガン）や脳神経疾患等が主な死因に成ります。ガンに関しては、世の中平均よりも北海道は死因が多い状態に成っております。その下の悪性新生物による死亡率の年次推移については、悪性新生物と云う病気自体が自分自身の細胞が細胞分裂してコピーされて行く中で、そのコピーミスによりガンになります。今は長生き時代になりますので、どうしてもここが増えてきてしまいます。次のページの脳発刊疾患に関しての死因としては、推移としては下がっております。ただし、心疾患に関しては、逆に少しずつ上がっております。その次のページは、自殺による死亡率が載っていますが、北海道は平成7年から増加を始め、今のところは横ばいで年間1,400から1,500人ぐらいの方が亡くなっております。これは、日本生命でのことに成りますが、保険金の約1割が自殺による保険金の支払いをさせて頂いております。私の仕事は生命保険ですので、万が一のリスクヘッジの商品を販売しております。この下のところに北海道と全国の0歳の平均余命が記載されております。死亡状況が今後変化しないと仮定して、各年齢の物が平均してあと何年生きるかを表しております。平均寿命と云うのは、0歳の方の平均余命を平均寿命と云っております。例えば、0歳のところ北海道は79.2に成っておりますが、65歳の平均余命を男性のところで見ると残り18年間あります。これは、すでに65歳までになってしまった方を除いての数字になるので、このように成っております。北海道は全国よりも少し低いですが、100人いたら14人は65歳に成るまでに亡くなるという現実があります。男性は80歳まで生存する確率は57%で女性は78%です。全体をみても北海道は病気で亡くなる方も多く、平均寿命少し短

いです。次のページは保険全体の動きに成っております。生命保険（死亡保障を販売する商品）、医療保険（入院・手術に供える保険）と云う物がございますが、かつては男性の方が多く加入されておりましたが、最近では女性の方の加入が増えてきています。医療保険の販売が多い。年金保険（積立保険）は元々、女性の方が加入者が多いが、最近では男性の加入者も増えてきています。次のページに年代別のデータがあります。まさに若い人の保険離れが進んでいる状態で、60歳以上の方が保険加入を考えるケースが増えてきています。次のページは都道府県別に死亡保障平均化している表に成ります。死亡保障の高さは、沖縄に次いで北海道は下から2番目に加入者が少ないです。是非、皆様も保険は大事ですので加入して頂ければと思います。

■ 青少年のスポーツ活動への助成

● 第24回サフォークランドサッカーへの助成



☆サフォークランド士別サッカークラブ（吉倉司会長）

● 平成25年度スポーツ少年団活動への助成



☆士別体育協会（神田英一会長）